

# 令和5年度 阿賀野川重要水防箇所及び水防倉庫巡視 開催概要

■阿賀野川沿川の自治体等で構成する阿賀野川水防連絡会では、関係機関との情報共有を目的に、阿賀野川の洪水時に危険が予想される箇所や水防倉庫等を関係機関合同で現地確認を行い、出水に備えました。

## ■開催概要

実施日：令和5年6月8日(木)

参加機関：新潟県、新潟市、阿賀野市、五泉市、新潟市 各消防団・消防署、阿賀野市 消防本部、五泉市 消防本部  
東北電力(株) 会津若松支社、東日本旅客鉄道(株)新潟支社、阿賀野川河川事務所

## ■巡視箇所 ※(●)はランクを指す

### ○胡桃山出張所管内

- ・横雲橋 (桁B、径)
- ・江南区小杉 (堤A、基A)
- ・本所緊急資材備蓄倉庫
- ・泰平橋 (桁B、径)
- ・松浜橋 (桁B、径)
- ・東区松浜町 (越A、水・洗A、堤B)
- ・北区濁川 (堤A)
- ・北区高森(越B)
- ・北区小杉 (堤B、基B)
- ・阿賀野市法柳 (堤A、基A、越B)
- ・阿賀野市深掘 (堤B)

### ○満願寺出張所管内

- ・阿賀野市下里 (越B)
- ・羽越本線鉄橋 (桁B、径)
- ・阿賀野市千唐仁 (基A)
- ・阿賀野市小浮 (基A)
- ・阿賀野市小松 (越A、越B)
- ・五泉市小流 (基A)
- ・五泉市渡場 (堤A、基B)
- ・五泉市三本木 (堤B)
- ・羽下大橋 (桁A、径)
- ・秋葉区金屋 (堤A)
- ・秋葉区中新田 (水・洗A、越B、堤B、基B)
- ・中新田災害対策機械等格納庫

※ 凡例 越:越水 堤:堤体漏水 基:基盤漏水  
水・洗:水衝・洗掘 桁:桁下高不足 径:径間長不足

## ●重要水防箇所とは・・・

洪水時に危険が予想され、重点的に巡視点検が必要な箇所をいい

「重要水防箇所」には、

- ・A: 水防上最も重要な区間
- ・B: 水防上重要な区間
- ・要注意区間

の3ランクがあり、堤防の高さや洪水流下のための断面、堤防からの漏水等の観点から指定されます。

## ■巡視の様子



阿賀野市法柳



阿賀野市小松



新潟市東区松浜町



阿賀野市下里(羽越本線鉄橋)



本所緊急資材備蓄倉庫



中新田災害対策機械等格納庫

# 阿賀野川流域タイムラインについて

## ■ 基本的な防災行動とその実施主体を時系列で整理した、流域タイムラインを作成

洪水等による被害を最小限にするためには、災害の発生を前提に、河川事務所等と市区町村等が連携し、災害時の状況を予め想定し共有した上で、基本的な防災行動とその実施主体を時系列で整理するタイムラインの作成・活用が有効です。

令和3年10月に国土交通省防災業務計画が見直され、国管理河川で先行して「避難情報に着目したタイムライン」を複数の市区町村を対象とした「流域タイムライン」に改めることとなりました。

## ■ WEB会議ツールを活用した危機感の共有

また、台風・前線接近時等から関係機関とWEB会議ツールを活用した危機感の共有を行う体制とすることで、流域全体での連携強化と市区町村の防災行動等の支援を目的とします。

## ■ 阿賀野川流域タイムライン(案)

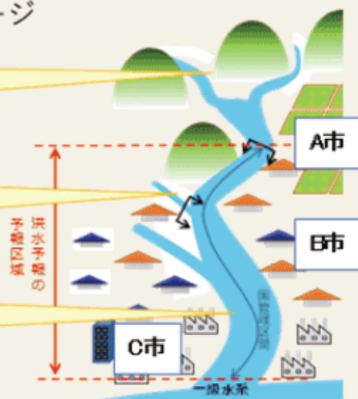
阿賀野川流域 流域タイムライン (案)  
【全体版】  
(馬下、満願寺、高瀬水位観測所)

### ■ 流域タイムラインのイメージ

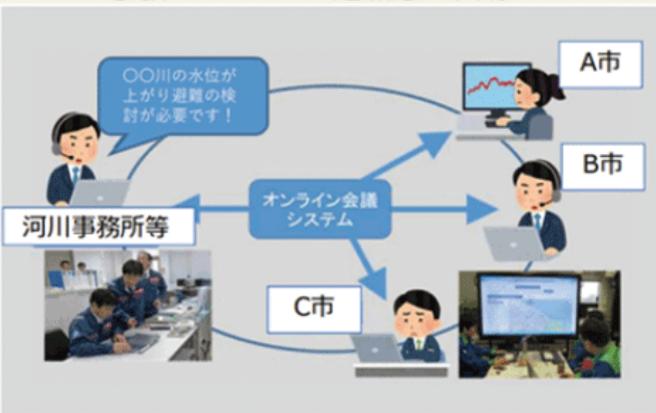
流域平均の雨量の実況や予測から数日前から警戒感を高める  
(气象台)

支川等の氾濫のおそれ、土砂災害の危険性について共有  
(气象台・都道府県河川・砂防部局)

河川水位の実況や予測から氾濫のおそれを共有  
(河川事務所・气象台)



### ■ WEB会議ツールによる危機感の共有イメージ



オンライン会議により流域全体で同時に情報共有

# 阿賀野川水系流域治水プロジェクト ポスターの作成

- ✓ 阿賀野川水系流域治水プロジェクトについて、上下流および構成機関が一体となり、より取組を展開し、地域へ周知・理解を深めていく必要があります。
- ✓ まずは、阿賀野川水系流域治水プロジェクトとしてのポスターを作成し、構成機関で掲示することで連携していることを広く展開していきたいと考えております。印刷したポスターを配布しますので、各機関で掲示をお願いします。

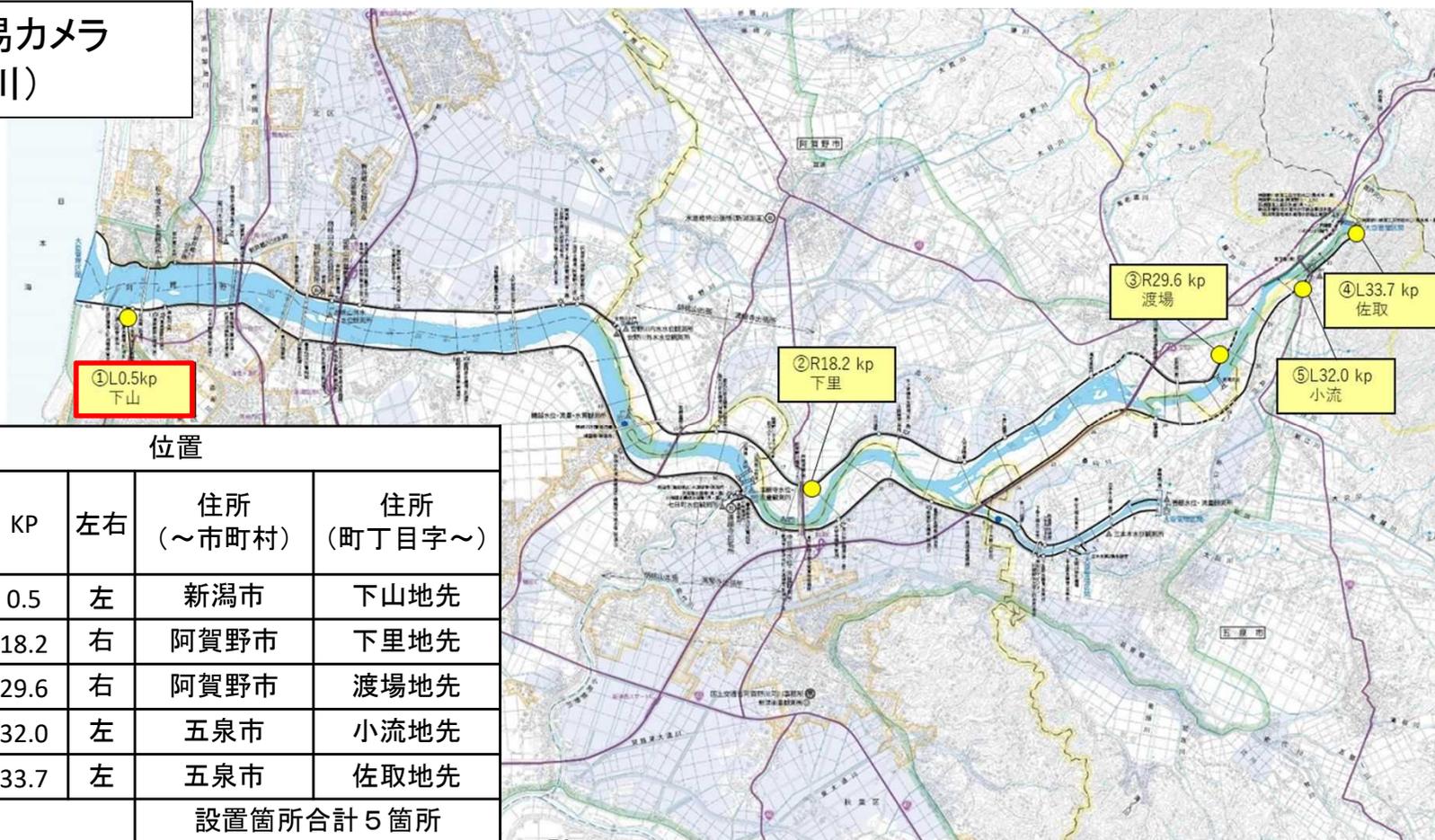


阿賀野川水系流域治水プロジェクトのポスター案

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
分類	③避難体制等の強化
実施内容	簡易型監視カメラの新規設置・運用開始
実施主体	国土交通省 阿賀野川河川事務所

国土交通省阿賀野川河川事務所では、令和3年に下山地先に1基を新しく設置し、令和2年度までに設置した4基と合わせ、沿川計5基にて運用中。

阿賀野川河川簡易カメラ  
位置図（阿賀野川）



No.	名称	位置				
		河川	KP	左右	住所 (～市町村)	住所 (町丁目字～)
1	下山	阿賀野川	0.5	左	新潟市	下山地先
2	下里	阿賀野川	18.2	右	阿賀野市	下里地先
3	渡場	阿賀野川	29.6	右	阿賀野市	渡場地先
4	小流	阿賀野川	32.0	左	五泉市	小流地先
5	佐取	阿賀野川	33.7	左	五泉市	佐取地先
設置箇所合計5箇所						

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
分類	⑥その他(排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施)
実施内容	排水計画(案)の作成(L2・3ブロック)
実施主体	国土交通省 阿賀野川河川事務所

L2ブロック 排水対策計画イメージ(阿賀野川左岸19.0kで破堤した場合)

■ポンプ車配置案

排水ポンプ車配置箇所	
区間	・小阿賀野川合流点～早出川合流点 (17.0k～23.0k)
●賞路津水門	⇒最大配置可能台数：2台
●車場排水機場	⇒最大配置可能台数：1台
●中野排水機場	⇒最大配置可能台数：3台
●能代川右岸連絡排水路	⇒最大配置可能台数：5台
●新潟市水道橋管	⇒最大配置可能台数：3台
特徴	・排水機場、樋門樋管、用水路等の蓋場が必要 ・能代川右岸連絡排水路の堤防天端幅は3.0～4.0mと狭く縦列配置となる

■アクセスルート案(第1候補)

待機場所①	きよがせ防災ステーション
アクセスルート	1 きよがせ防災ステーション →阿賀野川右岸堤防 →泰平橋 →国道7号BP →国道8号 →富農川大橋 →富農川右岸堤防(現地)
所要時間・距離	約60分：約36.2km

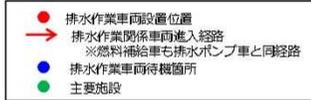
待機場所①	きよがせ防災ステーション
アクセスルート	1 きよがせ防災ステーション →横雲橋 →国道17号線 →小阿賀野川左岸・能代川右岸堤防(現地)
所要時間・距離	約23分：約11.5km

■アクセスルート案(第2候補)

待機場所②	新潟防災センター
アクセスルート	1 新潟防災センター →富農川左岸堤防 →国道8号 →富農川大橋 →富農川右岸堤防(現地)
所要時間・距離	約20分：約9.3km

待機場所②	新潟防災センター
アクセスルート	1 新潟防災センター →国道7号BP →一日市IC →国道17号線 →小阿賀野川左岸堤防 →小阿賀野川左岸・能代川右岸堤防(現地)
所要時間・距離	約53分：約30.7km

※緊急輸送道路(第1次)  
国道49号  
日本海沿岸東北自動車道  
越後自動車道 など  
※国道7号BPは高容量道路のため優先使用した。  
※犯濫ブロック内には車場排水機場、深川排水機場など15の排水機場等が存在



■氾濫区域内の主要施設

NO.	主要施設名
①	新潟市江南区役所
②	JR敦川駅
③	JRさつき野駅
④	JR京ヶ瀬駅

緊急輸送道路  
第1次緊急輸送道路  
第2次緊急輸送道路  
第3次緊急輸送道路

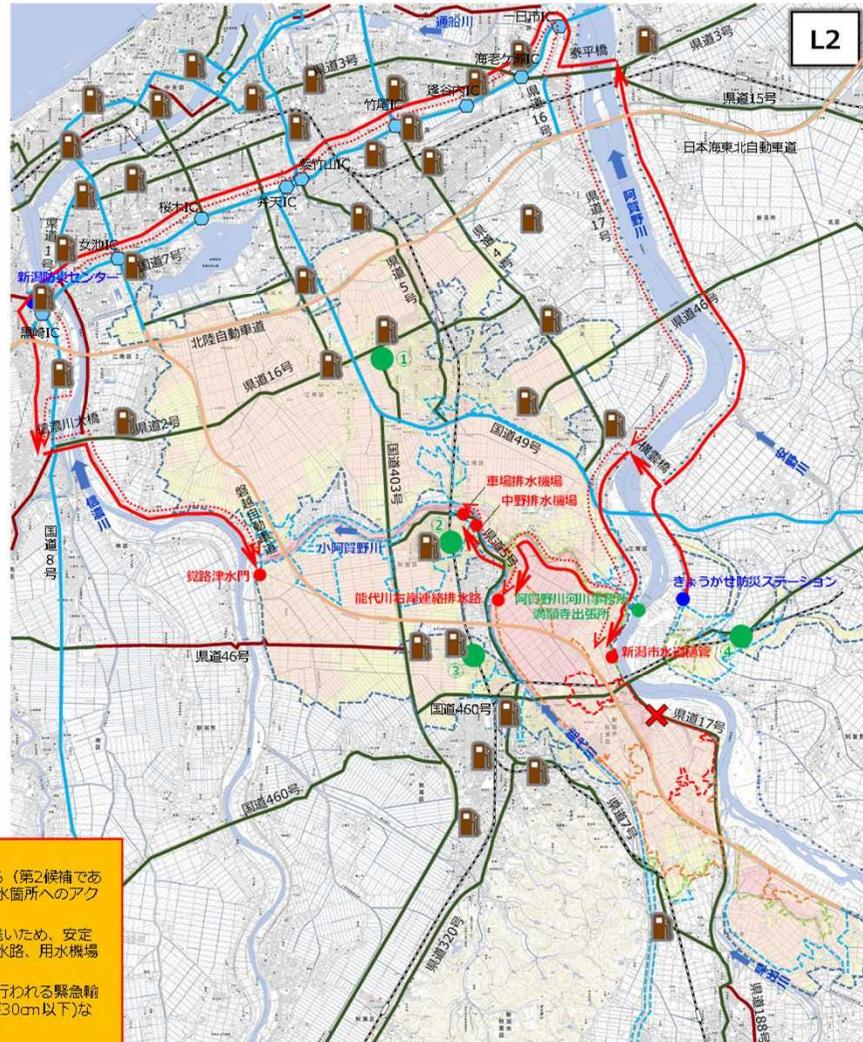
凡例  
● 0.5m未満の区域  
● 0.5m～3.0m未満の区域  
● 3.0m～5.0m未満の区域  
● 5.0m以上の区域

到達時間  
● 浸水後1時間  
● 浸水後2時間  
● 浸水後3時間  
● 浸水後4時間  
● 浸水後5時間  
● 浸水後6時間



■アクセスルートの考え方

- ・新潟防災センター(北陸技術事務所)を第1候補とする(第2候補であるきよがせ防災ステーションは、信濃川下流沿の排水箇所へのアクセスが悪く、移動時間を多く要する)。
- ・L1ブロックは拡散型で浸水深が最大でも3m未満と浅いため、安定した蓋場確保のため、浸水区域に接する排水機場、用水路、用水機場にポンプ車を配置
- ・使用するルートは大規模氾濫時に優先的に道路啓開が行われる緊急輸送道路を基本としており、堤防までの通行可能(浸水深30cm以下)な道路とする。



区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
分類	⑥その他(防災意識の醸成)
実施内容	防災意識醸成に係る広報の取り組み
実施主体	国土交通省 阿賀野川河川事務所

### ■ 平常時での広報の取組(事業の周知、理解促進)

・市役所、商業施設、コミュニティセンターなどにてパネル展を実施。  
 ※令和4年度は6月～10月にかけて7箇所を実施。

・Twitterでは、過年度の投稿でのインプレッション傾向より、**動画・写真を中心とした投稿**を行い定期的なコンテンツの更新を行った。



北区「環境と人間のふれあい館」



新津地域交流センター



Twitter投稿

### ■ 小中学校や地域の自治会、コミュニティ協議会への防災出前講座

・令和4年度は以下の機関から依頼があり、防災出前講座を実施。

実施日	機関	参加者
6月16日	新潟市立横越小学校	109名(1学年4クラス)
7月10日	横越コミュニティ協議会(新潟市秋葉区)	8名
10月16日	満願寺町内会(新潟市秋葉区)	40名
10月23日	新保地区町内会(阿賀野市)	25名
1月22日	千唐仁地区町内会(阿賀野市)	34名
2月18日	満日コミュニティ協議会(新潟市秋葉区)	14名



横越コミュニティ協議会



満願寺地区町内会



千唐仁地区町内会

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
分類	防災意識の醸成
実施内容	防災意識醸成に係る広報の取り組み
実施主体	国土交通省 阿賀野川河川事務所

### ■ 平常時での広報の取組(事業の周知、理解促進)

・市役所、商業施設、コミュニティセンターなどにてパネル展を実施。  
 ※令和3年度は5月～9月にかけて8箇所へのべ9回実施。

・Twitterでは、過年度の投稿でのインプレッション傾向より、**動画・写真を中心とした投稿**を行い定期的なコンテンツの更新を行った。



アピタ新潟亀田店



新津地域交流センター



Twitter投稿

### ■ 阿賀野川・早出川総合水防演習における広報の工夫

#### 【報道機関・紙媒体を活用した取組】

・大衆紙、FMラジオ、チラシ等での広報を実施。二次元バーコードを活用し、よりダイレクトに情報収集できるように工夫を行い、HP・ライブ配信へのリンク記載を徹底し、**各種広報媒体同士を紐づけ**を行った。

#### 【ネットコンテンツを活用した取組】

・多くのユーザーの目に留まるよう開催2週間前からTwitterにて、12回にわたり**カウントダウン投稿を実施**し、演習当日は会場の様子を動画を含め13回投稿を行った。また、演習の趣旨を理解していただくため、**YouTubeにてライブ配信**を実施し、水防意識の啓発を図った。



広報チラシ



カウントダウン投稿



ライブ配信

## (様式2-取組概要)

区 分	Ⅲ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
分 類	⑥ その他
実施内容	防災塾の実施
実施主体	阿賀野川河川事務所、各自治会、阿賀野市

全3回シリーズの防災塾を実施。1回目と2回目では講義を行い、災害の危険性や避難行動を説明。3回目では防災訓練を実施する。



阿賀野川河川事務所職員による講義



避難訓練での避難者受付